

月刊 きょうと教育通信

Vol. 29 平成17年6月号 発行:京都市教育委員会総務課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

プロジェクトが提言提出!

小学校給食で地産地消 (知産知消)を推進!!

5月9日、地産地消(知産知消)推進プロジェクト会議(座長:土田謹一(佛教大学講師))は、提言を門川大作教育長と野田卓郎小学校長会会長に提出されました。

16年7月に発足した同プロジェクトでは、学校給食や農産物の生産・流通関係者、学識経験者等の委員が、京都市ならではの地産地消、とりわけ学校給食を生きた教材として活用した食教育(知産知消)のあり方について検討されてきました。

提言では、当面、ブロック単位や全市単位での供給が可能な府内生産の農産物等を活用する、物資の供給にあたって安全性・納入形態・

価格を考慮することなどを提示。さらに、学校給食を通じて先人の知恵や生まれ育った地域、自然・歴史・食文化を学び、全てに感謝する心を育む食教育を推進することを求めています。

提言を受け、6月8日には、万願寺とうがらしを活用した献立が登場。今後も賀茂なすや聖護院だいこんなど、京都が育てきた伝統野菜を新たに給食に導入するとともに、京都ならではの食育を推進していきます。



ご意見・お問合せ=体育健康教育部(213-5473)

~教科・生徒指導・部活動等に優れた教員を認証~

スーパーティーチャー 認証制度を創設!

全国から注目を集める本市教育改革を支えてきた多くの熱意溢れる教員の努力に応えるため、これまでから、毎年約500人程度を顕彰する教育実践功績表彰や、今年度から全ての教員を対象にして実施している教員評価システムなど、全国に先駆けて取り組んできました。

こうした取組に加えて、教科指導、生徒指導、部活動指導など、教育活動のそれぞれの分野で卓抜した力量を有し、他の教員の模範となる実践を進める教員を積極的に評価し、その専門性を広く本市全体にまで波及させるために、「スーパーティーチャー認証制度」を本年7月を目途に創設し、まずは、より高度な専門性を求められる市立高校教員を対象に認証します。

ご意見・お問合せ=教職員人事課(222-3781)

《5月の主なできごと》

- 9日 「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業が、西ノ京中学校を皮切りにスタート。原則5日間に拡大して実施。
- 20日 小学校普通教室冷房化事業の実施方針を公表。全国初!PFI手法を導入し、当初計画を2年短縮し、18年8月完了予定。
- 21日 平成18年度京都市立学校教員採用選考試験説明会。日本初!国際貢献活動経験者特別選考採用者等が経験談を報告。

新教育委員に谷口賢司氏

5月31日、谷口賢司氏(佛教大学教授)が、新たな教育委員に任命されました。指導部長、教育企画監、教育政策監を歴任され、現場に根差した本市教育改革を進めてこられました。

榊本頼兼市長から辞令を受けた谷口氏は、「長年の教育行政の経験を生かし、現場に寄り添いながら教育改革に尽力したい」と語りました。



過去最高の進路実績！

市立高校が過去最高の大学現役合格率と
全校で100%の就職内定率を達成！

進学状況

普通科系4校(堀川・日吉ヶ丘・紫野・塔南)の4年制大への現役合格率は、昨年度を上回り、62.9%と過去最高を更新。国公立大への現役合格者数は、212名と、昨年度に続き、200名を超えました。

堀川高校では、東大や京大などの難関大学に多数の合格者を出し、京大への現役合格率は、2年連続で全国公立高校トップを記録！医学部医学科への合格は、14名と、昨年度の3名を大きく上回り、全国から注目される成果を得ました。

芸術専門系2校(銅駝・音楽)でも、4年制

大学への現役合格率が68.5%と、昨年度の59.3%を大きく更新。銅駝美術工芸高校では、京都市立芸術大に7名、音楽高校では、私学の名門、桐朋学園に2名、京都市立芸術大に6名が合格しました。

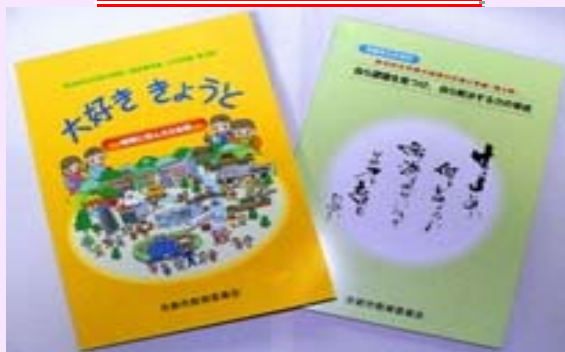
市立高校では、生徒と教職員の努力により、このように、普通科・専門学科ともに素晴らしい実績を上げることができました。

就職状況

依然として厳しい経済情勢の中、各校の懸命の努力により、全日制では平成9年度以来、7年ぶり、定時制では平成12年度以来、4年ぶりに全校で学校斡旋による就職内定率100%を達成。洛陽工業・伏見工業では、3年連続100%の内定率を確保しました。また、西京高校商業科最後の卒業生も100%を達成しています。

ご意見・お問合せ = 学校指導課(222-3811)

全市立学校の実践事例を集約 総合的な学習の時間 実践事例集を発刊！



今回の教育改革の大きな柱の一つである総合的な学習の時間を、本市では、全国に先駆け、平成11年度から小学校全校で、12年度から中学校全校で先導的に実施。学校・家庭・地域が連携した京都ならではの教育風土を生かした実践は、全国的にも高い評価を得ています。

このほど、その取組の集大成として「地域に学んだ5年間(小学校)」、「自ら課題を見つけ、自ら解決する力の育成(中学校)」と題した実践事例集をそれぞれ発行。事例集には、総合的な学習の時間についての現状と課題等とともに、全小中学校の事例を紹介しています。

今後とも、各学校において、この事例集も生かした特色ある取組を一層推進し、子どもたちのさらなる「生きる力」の育成に努めます。

ご意見・お問合せ = 学校指導課(222-3808)

万華鏡ミュージアムが 入館者1万人を達成！

京都万華鏡ミュージアムは、5月11日、開館1周年を待つことなく、入館者1万人を達成しました。

当ミュージアムは、京都南ロータリークラブから寄贈いただいた万華鏡をもとに、財団法人京都市生涯学習振興財団の事業として平成16年6月6日にオープン。全ての万華鏡を手に触れて見ることが出来る展示スペースの他、カフェ・ミュージアムショップも充実し、ギャラリーでは各種展示も開催しています。

6月には、開館1周年を迎え、6月15日から7月14日まで、日本を代表する万華鏡作家達による国内初の合同展示会を開催するとともに、その作家達による手づくり教室を行います。その後、日本万華鏡俱樂部が実施した公募展の入賞作品を展示(7月15日~31日)します。



入館者1万人目となった佐藤幸子さん(名古屋市長)に内藤幹夫子どもパトナ所長が記念品を贈呈

ご意見・お問合せ = 京都万華鏡ミュージアム姉小路館(254-7902)